【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和7年3月26日(2025.3.26)

【国際公開番号】WO2023/238401
【出願番号】特願2024-526210(P2024-526210)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｈ　1/32(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ　1/32　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和6年3月18日(2024.3.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
一対の第１偏芯部および第２偏芯部を有する入力軸と、
前記入力軸と同軸上に設けられる外歯歯車からなる固定太陽歯車と、
前記固定太陽歯車と噛み合う内歯歯車を有し、前記入力軸の前記第１偏芯部に設けられた第１遊星歯車と、
前記入力軸の回転軸と同軸上に配置されて、減速出力を出力する外歯歯車からなる従動太陽歯車と、
前記従動太陽歯車と噛み合う内歯歯車を有し、前記第２偏芯部の偏芯入力を受け入れ可能な第２遊星歯車と、
前記第１遊星歯車と前記第２遊星歯車の間に配設される連結部材と、
を備え、
前記第２遊星歯車と前記従動太陽歯車とのギヤ比は、前記第１遊星歯車と前記固定太陽歯車とのギヤ比と異なるギヤ比で構成され、
前記連結部材は、一方の端部の中心軸と他方の端部の中心軸とがオフセットされて構成されており、前記一方に端部を前記第１遊星歯車で回動可能に支持され、前記他方の端部を前記第２遊星歯車で回動可能に支持され、前記第１遊星歯車および前記第２遊星歯車の一体的な運動を行わせるとともに、前記第２遊星歯車の自転を規制し、
前記連結部材は前記第２偏芯部に設けられ、前記一方の端部を、前記第１遊星歯車の周方向内側に配置されて回動可能に支持され、前記他方の端部を、前記第２遊星歯車の周方向外側に配置されて回動可能に支持される、
ことを特徴とする遊星歯車減速機。
【請求項２】
前記第２遊星歯車は、前記第２遊星歯車の内歯歯車の偏芯が、前記第２偏芯部と同位相かつ同偏芯量となるように、前記第１遊星歯車とは逆位相に設けられ、前記第２遊星歯車は、前記連結部材を介して、前記第２偏芯部の回動を受け入れる、
ことを特徴とする請求項１に記載の遊星歯車減速機。
【請求項３】
（削除）
【請求項４】
前記第１遊星歯車の内歯歯車および前記第２遊星歯車の内歯歯車は、トロコイド曲線を基準に構成され、

前記第１遊星歯車と前記固定太陽歯車、および前記第２遊星歯車と前記従動太陽歯車は、歯数差を２以上の整数、かつ、噛み合い率を２以上とする、
ことを特徴とする請求項１～３のいずれか一項に記載の遊星歯車減速機。